

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立野村高等学校
学校番号(39)

評 価 実 施 日		令和7年2月26日(水)	
委員	氏 名		備 考
	井上 恵一	野村石油(株)代表取締役	
	楠 真紀	特別養護老人ホーム寿楽苑 施設長	
	熊谷 琢磨	(有)フローラルクマガイ代表取締役	
	土居 真二	湊筋地域づくり活動センター長	
	徳村 学	道の駅きなはい屋本部営業部長	
	岡部 一行	野村中学校教頭	
	酒井 康次	西予市野村支所産業建設課長	
	笹井 弘樹	城川中学校教頭	
	谷本 英樹	有限会社タニヤ代表取締役	
土居 文人	西予市野村支所長		
評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方策等	
今年度の最終評価について			
(1) P T A 活動 ・今年度も高校祭(文化祭)に協力させていただいた。P T Aの参加も年々増加し盛り上がっているように感じる。生徒数減の影響でP T Aの会員数も減少しているがよく活動している。 ・野村は西日本豪雨を経験し、南海トラフ地震の被害も想定される。生徒が防災に関して意識的に訓練しているのは素晴らしい。防災意識を高めるために実践的な訓練は必要不可欠であり、様々な想定の下でパターンを変えながらの実施が必要である。		・今年度も充実した高校祭(文化祭)を実行できた。バザーや畜産科アピールなどP T A活動も協力的で活発であった。今後も役員の方々と連携を取りながら活動のさらなる充実を図っていききたい。 ・防災・退避訓練に関して、提言でも頂いているが、今年度様々な事態を想定した訓練を実践した。今年度は緩降機を使用した訓練も取り入れてみた。毎年関係機関(消防署)から御助言も頂いているため、それらを参考にしながら、より実践的なものとなるよう見直しを行っていききたい。	
(2) 学習指導 ・学習時間よりも教授内容、生徒の集中力育成が必要ではないか。教員の授業力の向上により、生徒も学習内容が充実してくると思う。生徒数が少ないことを生かして、手厚い指導をお願いしたい。 ・学習の充実が生徒数の増減にも影響してくる課題である。時間だけでなく、生徒のニーズに合った学習及び進路指導への対応を考察してほしい。 ・探究活動なども地域に積極的に出てきており、地域としてもありがたく思っている。		・学習時間の確保のため、一人一台端末等を用いて課題に工夫を加えていきたい。またそのことが内容の充実にもつながると考えている。小規模校の特色として、教員と生徒間の距離の近さがあげられるが、これをメリットとして生かし、少人数教育の更なる充実を図りたい。 ・探究活動は地域連携を深める重要な機会であるため、その内容の見直しを行い、さらに地域と密接に結びつく活動を展開したい。	
(3) 生徒指導 ・落ち着いた登下校の様子がみられ、挨拶もよくできている。地域住民としても気持ちが良い。身だしなみも確であり、全体的にまじめな雰囲気を感じている。 ・時間の余裕をもって行動することが事故の防止につながる。登校中、特に原付による事故等は大きな事故へと繋がるので十分に注意をして欲しい。相手を傷つける可能性もあり、今後も適切な指導をお願いしたい。		・大きな事故に遭うこともなく、生徒の雰囲気も落ち着いている。今後もこの状況の継続をめざした生徒指導を行いたい。 ・生徒指導としては友人間でのトラブル、スマートフォンの不適切な使用などがあった。学校全体で指導する体制を構築し、偏りのない一斉指導ができるよう教員間の共通認識を図っていききたい。	
(4) 特別活動(生徒会活動、学校行事等) ・生徒も忙しいと思うが、朝霧湖マラソン・乙亥大相撲など地域行事に数多くボランティアとして参加してくれて助かっている。これらの活動は社会に出ても大事な経験となる。継続して行ってほしい。 ・移動動物園は好評と聞いている。相撲部・農業クラブの活動実績も素晴らしい。 ・様々な活動があると思うが、地元には高齢者施設や障がい者施設等もあり、こちらでも交流できると有難い。 ・活動を広報や新聞でよく目にする。地域に密着しており好ましく感じる。		・朝霧湖マラソン大会ボランティアをはじめ多くの地域行事への参加は地域から好評価を得ている。今年度から乙亥大相撲への全校生徒での参加がはじまり、多方面より御評価いただいた。学校行事との兼ね合いを考えながら継続していききたい。 ・移動動物園に関しては「のむこうふれあい動物園」やアニマルウェルフェアにも留意しながら活動の充実を図りたい。また動物ふれあい部・相撲部は次年度も魅C a n部の申請を行い、活動のさらなる充実を考えている。 ・人権委員会、V Y Sが中心となり地域の諸施設との交流を行っている。高齢者施設等とも何らかの交流ができないか検討していききたい。 ・学校H P、公式Instagram・Xでの広報、マスコミを通じた広報活動を今後も積極的に展開していききたい。	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
(5) 進路指導 ・生徒が希望する進路を実現することが大事であるが、そのためには本人の努力に加えて教員との相談体制の充実も必要である。 ・近年、進学・就職共に素晴らしい成果が出ていると感じる。今年度も最後までしっかりとした指導をお願いしたい。 ・生徒が少ない利点を生かしてより手厚い対応ができないか検討して欲しい。 ・国公立大学5名(2月25日現在)の合格者をはじめ、就職・進学それぞれの道に進むことができてよかった。一定の評価はできる。	・少人数教育の利点として一人あたりの小論文・面接指導の回数を増やし、充実度を上げられる点がある。今年度もその点を生かして一定の進路実績を残すことができた。しかしながら進路課長や学年付進路課員の面接を行うなど、さらに多角的・多面的な面談の機会を増やし、進路指導の充実度を上げ、生徒の満足度を高めたい。 ・今年度も国公立大学2次試験後期日程まで頑張りたいという生徒が複数いる。就職指導も含めて最後まで丁寧な指導を心掛けたい。 ・3月10日現在で普通科6名の国公立大学合格者を出すことができた。昨年度と比較すると減少しているため、今年度のうちから新3年生の進路指導を計画的に実行したい。
(6) 保健管理・教育相談・特別支援教育 ・心身ともに相談しやすい体制ができていないのではと感じる。問題なく充実していると思う。 ・下宿生の支援に関して、今後も協議が必要である。	・学期毎の「悩みの調査」のみならず、普段の様子や保健室利用頻度、発言内容等から、担任、学年主任、養護教諭、保健主事が連携し対応することができた。本年度の取組を次年度に生かしたい。 ・学校と地域・保護者の連携が円滑にいくように今年度の取組を反省し、検討していきたい。
(7) 読書指導・情報教育 ・読書やICTを活用して、いろいろな知識・情報を取り入れてほしい。 ・ホームページをよく拝見させていただくが、生徒が活動し、学習する向きが感じられる。今後も地域に根ざした学校づくりの継続をお願いしたい。	・電子図書サービスの利用も定着しており、読書習慣の定着がみられた。今後も働きかけをし、読書指導をさらに進めたい。 ・一人一台端末については、利用方法に教員間で格差が感じられる。次年度は研修等を通じて有効な活用方法をさらに広げたい。 ・ホームページの更新は全教員で積極的に取り組んでいる。他校と比較しても更新回数は多いと思うが、さらに中学生に魅力が伝わるようHPの刷新を図っていききたい。また公式Instagram・Xの活用方法も研究していききたい。
(8) 人権・同和教育 ・今後も人権問題を解決するための行動のできる、偏見も差別意識もない生徒の育成、差別のない世界の構築につながるような指導をお願いしたい。	・高校祭では視覚障がい者のために点字活動を行っている地元団体の取組を人権委員会・図書委員会・VYS・ホームルーム活動が共同で調査し、ポスター発表を行った。今後もこのように関係諸機関と連携し、人権意識の高揚を図っていききたい。また校内での人権に関する講演活動なども地域に向かって拡大していききたい。 ・本年度・次年度は愛媛県高等学校人権・同和教育研究指定校となっている。若手教員を中心に積極的に研修に参加する様子も見られる。しかし教員間で取組に差が生じているようにも感じるため、人権研修課を中心に研修等を見直し、全校体制での意識形成を考えていききたい。
(9) 学校魅力推進(全国募集、寮・下宿等) ・動物ふれあい部や相撲部など魅力ある部活動を前面に出してアピールして欲しい。 ・魅力発信のための様々な努力を感じる。普通科の良さ、魅力をアピールする工夫があればなお良い。 ・学校存続のための最重要課題であると認識している。地域や関係機関と連携しながら、出来る手段はどんどん打ち出し、全国にアピールしてほしい。 ・全国だけでなく地域にも目を向け、地域全体で考える必要もある。 ・全国募集の際に地域代表として参加させていただいた。1年生の女子生徒が生き生きと野村高校をアピールしており、彼女らの説明もあいまって全国に向けてよいアピールができていた。今後に期待ができると感じる。 ・公営塾の取組が今一つわからない。	・動物ふれあい部・相撲部は次年度も魅Can部の申請を行い、新規事業も検討している。全国発信のみならず地域の方へも積極的に広報していききたい。 ・少人数教育やICTの活用による学習指導・進路指導の充実を図ることで西予市唯一の普通科の存在意義を地域の方に広報していききたい。 ・本年度は、地域みらい留学の活動において、東京に加えて大阪での対面活動を行うことができ、今までにはなかった自治体からの依頼もみられた。次年度も西予市、同市教委や野村支所、本校同窓会とも連携しながら全国募集活動の充実を図っていききたい。 ・課題であった住居環境(寮・下宿)の整備は女子シェアハウスが地域の熱意で建設され、大いに進展している。地域の期待に応えられるように、現状をしっかりとアピールしていききたい。 ・探究活動等で公営塾の取組が明確になるように検討していききたい。
(10) その他(業務改善、施設管理、他) ・動物ふれあい部の活動に期待している。必要ならば行政にも声掛けをしてほしい。 ・野村高校が中学生たちの近くにある学校であることを感じられる手立てがあれば良い。 ・報道などで取り上げられているのを拝見する。全体的に良い雰囲気を感じる。 ・教職員の多忙によるストレス改善につながるように業務の改善に取り組んでほしい。	・動物ふれあい部の活動に関しては地域からも多くの声掛けをいただいている。頂いた情報を整理しつつ、連携を模索していききたい。 ・本校のPTA通信を中学校へ配布するなどして地元中学校への広報活動を再検討したい。 ・働き方改革を推進するため会議の精選、休暇取得の促進、部活動の見直し、ノー残業デーの設定、校務分掌の再編などを行ってきた。次年度以降も清掃回数の削減など教員の負担軽減につながる活動を考えていききたい。